

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔24〕 東京都台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター				
指定管理者の名称		社会福祉法人東京援護協会		指定期間	H21. 4. 1 ~ H26. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	高齢者部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、在宅介護支援センター(2)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕その他障害者部門など。					
(2) 類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 5 施設					
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入4,288,388,535円、歳出4,216,017,082円、収支差額72,371,453円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区蔵前 2-11-7					
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く） 8時30分～17時15分					
(5) 規模	延べ床面積 3,937㎡のうち574㎡ SRC造地上7階地下2階のうち6階の一部					
(6) 人員体制	16名 内訳…事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤5、非常勤6)、看護職員(常勤1、非常勤1、派遣1)					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	①通所介護サービス（送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等）、②介護予防通所介護サービス（送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等）					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料(21年度から)	31,690,800	31,560,000	17,955,000	12,728,000	10,000,000
	料金収入等	59,183,200	70,709,000	78,175,000	78,105,000	76,864,000
	管理経費	90,874,000	102,269,000	96,130,000	90,833,000	86,864,000
決算	委託料(21年度から)	23,940,373	23,212,410	17,955,000	12,728,000	10,000,000
	料金収入等	71,351,880	90,071,213	106,347,255	121,332,667	76,728,561
	管理経費	86,944,663	85,732,194	81,953,033	133,820,667	85,207,780
	収支	8,347,590	27,551,429	42,349,222	240,000	1,520,781
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数		日	311	310	310	311
定員		人	30	30	30	30
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率		%	90.0	82.4	85.3	82.7
利用者数		人	8,400	7,664	7,929	7,720

## 7. 前年度からの取組

サービスの向上に努めながら、収支の改善に取り組んでいる。今後も料金収入の増収を図るため、行事等を充実させるなどの取組みを進めていく。

**8. 評価項目** 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.1]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[3]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	事業の運営は全体的に適切に実施されている。祭日・年末の営業など利用者本位のサービスが提供されている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に対応されている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。
(3) 利用者の満足度	A	満足度調査では、利用者からの評価は概ね高く、利用者のニーズに応じたサービスの提供に努めている。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。管理経費の削減は図られており、利用料金収入の増収など今後も収支の改善に取り組んでいく必要がある。

**10. 総合評価** 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	利用者の作品展をはじめ、利用者ニーズを把握しながら、全般的に良好な事業運営を実施しており、利用率も高い水準を維持している。
-----------	---

**11. 評価結果への対応**

利用者のニーズに応じたサービスの提供に努め、施設の管理運営についても全体的に適切に実施されている。今後も利用者からの高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、利用料金収入の増収など収支の改善に取り組んでいく必要がある。